

■科目基本情報

| | | | | | | | |
|-------------|-----------------------|-----|----|-------|------|-------|----|
| 科目名 | 情報マネジメントと経営戦略 | | | 科目コード | J102 | 科目区分 | 専門 |
| 学科・コース | 情報システム工学科 システムデザインコース | | | 学 年 | 1 年 | 学 期 | 通年 |
| 方 式 | 講義 | 必 選 | 必修 | 単 位 | 2 | 総 時 数 | 60 |
| 実務経験のある教員科目 | □対象・☑対象外 | | | | | | |

■授業詳細情報

| | |
|-----------|---|
| 授 業 概 要 | 情報処理技術者として習得しておくべき知識のうち「ストラテジ」、「マネジメント」の分野を、情報処理推進機構(IPA)が定める基本情報技術者試験シラバス「ストラテジ系」、「マネジメント系」に則り、システム戦略、経営戦略、企業と法務、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメントに関する知識を学習する。また習熟度を上げ、かつ基本情報技術者試験合格を目的とした問題演習を行う。 |
| 達 成 目 標 | 実務レベルで最低限必要な情報処理に関する専門用語の知識を備え、また各種見積もり及び開発に関する基礎的な計算ができる。IT パスポート試験(レベル1)、基本情報技術者試験(レベル2)に合格するレベルの知識を有する。 |
| 使 用 教 材 | 教科書： よくわかるマスター基本情報技術者試験対策テキスト令和5-6年度版 FOM 出版 副教材： 演習用プリント 参考書： |
| 授 業 外 学 習 | 習熟度を深めるため、教科書の対象箇所を授業前までに一読しておくこと。 |

授業計画

| 項 目 | 内 容 | 時数 |
|------------------|--|----|
| 1 経営戦略 | | |
| 1.1 経営戦略手法 | ・経営戦略に関する基本的な考え方 ・全社戦略, 事業戦略, 代表的な経営戦略手法のあらまし | 1 |
| 1.2 マーケティング | マーケティングの基本的な考え方, 代表的なマーケティング手法の基本的な考え方 | 1 |
| 1.3 ビジネス戦略と目標・評価 | ・ビジネス戦略と目標の設定, 評価の目的, 考え方, 手順のあらまし ・目標の設定, 評価のための代表的な情報分析手法のあらまし | 1 |
| 1.4 経営管理システム | 代表的な経営管理システムのあらまし | 1 |
| 2 技術戦略マネジメント | | |
| 2.1 技術開発戦略の立案 | 技術開発戦略の目的, 基本的な考え方 | 1 |
| 2.2 技術開発計画 | 技術開発計画の目的, 基本的な考え方 | 1 |
| 3 ビジネスインダストリ | | |
| 3.1 ビジネスシステム | 各種ビジネス分野に用いられている代表的な情報システムの種類, 特徴 | 1 |
| 3.2 エンジニアリングシステム | ・エンジニアリングシステムの開発, 設計における目的, 基本的な考え方 ・生産の自動制御, 生産システム, 生産管理, コンピュータ支援システムの目的, 基本的な仕組み | 1 |
| 3.3 e-ビジネス | EC, EDI などインターネットを介して行う e-ビジネスの仕組み, 特徴 データ交換の代表的な標準 | 1 |
| 3.4 民生機器 | ・組み込みシステムのあらまし ・民生機器の特徴, 動向, 代表例 | 1 |
| 3.5 産業機器 | 産業用電子機器の特徴, 動向, 代表例 | 1 |
| 4 企業活動 | | |
| 4.1 経営・組織論 | ・企業活動, 経営管理, 経営組織のあらまし ・経営環境の変化, 課題 ・企業におけるコンピュータリテラシの必要性, 有用性 | 1 |
| 4.2 OR・IE | ・代表的な OR や IE の基本的な手法 ・データの収集, 整理, 分析, ビジュアル表現などの基本的な手法 | 3 |
| 4.3 会計・財務 | ・売上と利益の関係, 企業会計の手順, 財務諸表の基本的な見方 ・財務会計と管理会計, キャッシュフロー会計の目的, 考え方 ・資金計画と資金管理, 資産管理の目的 | 3 |
| 5 法務 | | |

| | | | |
|------|---------------------|---|---|
| 5.1 | 知的財産権 | <ul style="list-style-type: none"> ・知的財産権の基本的な考え方 ・著作権の保護, 権利侵害に関する基本的な考え方 ・産業財産権法の中心となる 4 法による権利の保護, 権利侵害に関する基本的な考え方 ・不正競争防止法の基本的な考え方 | 1 |
| 5.2 | セキュリティ関連法規 | <ul style="list-style-type: none"> ・我が国のサイバーセキュリティに関する施策の基本となる事項などを定めたサイバーセキュリティ基本法のあらまし ・不正アクセス禁止法のあらまし ・コンピュータを利用した不法行為に関する刑法のあらまし ・個人情報保護・プライバシー保護の考え方, 手法・技法のあらまし。 ・電子署名及び認証業務などに関する法律のあらまし。 ・プロバイダ責任制限法のあらまし | 1 |
| 5.3 | 労働関連・取引関連法規 | <ul style="list-style-type: none"> ・代表的な労働関連, 取引関連の法規のあらまし ・代表的な企業間の取引にかかわる契約のあらまし | 1 |
| 5.4 | その他の法律・ガイドライン・技術者倫理 | <ul style="list-style-type: none"> ・IT 基本法のあらまし ・コンプライアンス, 技術者倫理, 遵守すべき法律や基準のあらまし | 1 |
| 5.5 | 標準化関連 | 代表的な標準や規格, 標準化団体, 国際認証の枠組みのあらまし | 1 |
| 6 | プロジェクトマネジメント | | |
| 6.1 | プロジェクトマネジメント | <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト, 及びプロジェクトマネジメントの目的, 考え方, プロセス, プロセス群, 対象群のあらまし ・プロジェクトの体制の種類, 特徴のあらましと, 自己管理の内容 | 1 |
| 6.2 | プロジェクトの統合 | <ul style="list-style-type: none"> ・統合の対象群が含むプロセスのあらまし ・統合の対象群が含むプロセスの主要なインプット及びアウトプット, 並びにツールと技法のあらまし | 1 |
| 6.3 | プロジェクトのステークホルダ | <ul style="list-style-type: none"> ・ステークホルダの対象群が含むプロセスのあらまし ・ステークホルダの対象群が含むプロセスの主要なインプット及びアウトプット, 並びにツールと技法のあらまし | 1 |
| 6.4 | プロジェクトのスコープ | <ul style="list-style-type: none"> ・スコープの対象群が含むプロセスのあらまし ・スコープの対象群が含むプロセスの主要なインプット及びアウトプット, 並びにツールと技法のあらまし | 1 |
| 6.5 | プロジェクトの資源 | <ul style="list-style-type: none"> ・資源の対象群が含むプロセスのあらまし ・資源の対象群が含むプロセスの主要なインプット及びアウトプット, 並びにツールと技法のあらまし | 1 |
| 6.6 | プロジェクトの時間 | <ul style="list-style-type: none"> ・時間の対象群が含むプロセスのあらまし ・時間の対象群が含むプロセスの主要なインプット及びアウトプット, 並びにツールと技法のあらまし | 2 |
| 6.7 | プロジェクトのコスト | <ul style="list-style-type: none"> ・コストの対象群が含むプロセスのあらまし ・コストの対象群が含むプロセスの主要なインプット及びアウトプット, 並びにツールと技法のあらまし | 2 |
| 6.8 | プロジェクトのリスク | <ul style="list-style-type: none"> ・リスクの対象群が含むプロセスのあらまし ・リスクの対象群が含むプロセスの主要なインプット及びアウトプット, 並びにツールと技法のあらまし | 1 |
| 6.9 | プロジェクトの品質 | <ul style="list-style-type: none"> ・品質の対象群が含むプロセスのあらまし ・品質の対象群が含むプロセスの主要なインプット及びアウトプット, 並びにツールと技法のあらまし | 1 |
| 6.10 | プロジェクトの調達 | <ul style="list-style-type: none"> ・調達の対象群が含むプロセスのあらまし ・調達の対象群が含むプロセスの主要なインプット及びアウトプット, 並びにツールと技法のあらまし | 1 |
| 6.11 | プロジェクトのコミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの対象群が含むプロセスのあらまし ・コミュニケーションの対象群が含むプロセスの主要なインプット及びアウトプット, 並びにツールと技法のあらまし | 1 |
| 7 | サービスマネジメント | | |
| 7.1 | サービスマネジメント | <ul style="list-style-type: none"> ・サービスマネジメントの目的, 考え方 ・サービスマネジメントシステムの確立及び改善の考え方 | 1 |
| 7.2 | サービスの設計・移行 | サービスの設計・移行の考え方 | 1 |
| 7.3 | サービスマネジメントプロセス | サービスマネジメントの各プロセス | 1 |

| | | | |
|------|---|---|---|
| 7.4 | サービスの運用 | <ul style="list-style-type: none"> 運用計画や資源管理といったシステム運用管理の役割, 機能 システムの操作やスケジューリングといった運用オペレーションの役割, 機能 サービスデスクの役割, 機能 | 1 |
| 7.5 | ファシリティマネジメント | ファシリティマネジメントの目的, 考え方, 施設や設備の管理, 維持保全における留意事項 | 1 |
| 8 | システム監査 | | |
| 8.1 | システム監査 | <ul style="list-style-type: none"> 監査の目的, 種類 システム監査の目的, 手順, 対象業務についての考え方 監査計画, 監査の実施, 監査報告とフォローアップ, 監査の体制整備の考え方 システム監査基準など代表的な基準, 法規のあらまし | 3 |
| 8.2 | 内部統制 | 企業などにおける内部統制と IT ガバナンスの目的, 考え方 | 1 |
| 9 | 問題演習 | 別途宿題、レポート、課題等にて演習を実施 | - |
| 評価方法 | ①期末試験（又は各検定試験への合格による評価）：60%、②出席率：20%、③課題提出：20% ①～③の合計得点を評価（優、良、可、不可）に置き換える ※IT パスポート試験または基本情報技術者試験へ合格した場合、定期試験合格としこれを免除する | | |
| 関連科目 | 情報テクノロジー、簿記学 | | |
| 備考 | 本授業において身につけた知識は、IT パスポート試験、基本情報技術者試験を始め、情報活用試験（J 検）、情報システム試験など多くの試験に対応している。よって積極的に検定試験を受験し、合格を目指してほしい。 | | |